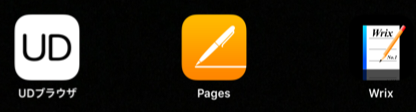
2016/05/21

iPadでPDFとHTMLのコンテンツを作成し，UDBで活用しよう！

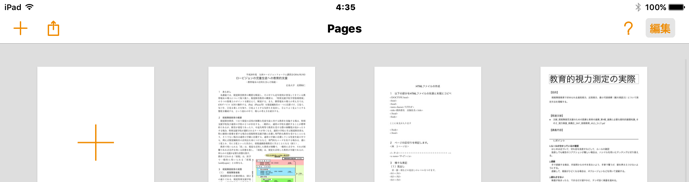
広島大学　氏間和仁

慶応義塾大学　中野泰志

本日，利用するアプリ



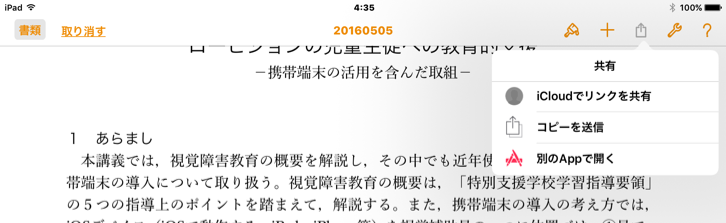
１　Pagesで，PDFファイルの作成



　Pagesを起動して，ファイル閲覧画面の左上の「＋」を押す。

　WebDavからWord形式のファイルを読み込む。

（フォルダ名は，sympo，ファイル名は，20160505.docx）



　ファイルの概要を確認する。

　右上の「↑」アイコンをタップして，「別のAppで開く」を選択する。

　PDF形式を選択する。（ファイル名を確認。拡張子は関係ない）



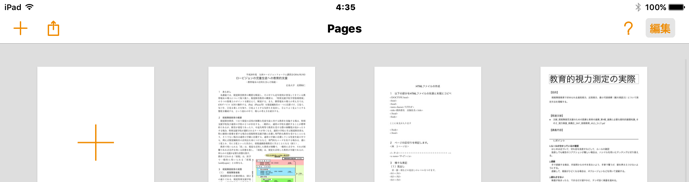
　UDBを選択し，PDFファイルをUDBヘエクスポートする。

　UDBで閲覧すると，ファイルが追加されています。

　まだ，HTMLファイルがUDBに入っていないので，リフロー表示はできません。

２　Wrixで，HTMLファイルの作成

　先に開いた，20160505.docxの内容を全て選択して，コピー後，Wrixにペーストします。



　Pagesを起動して，ファイル閲覧画面の左上の「＋」を押す。

　WebDavからWord形式のファイルを読み込む。

　（フォルダ名は，sympo，ファイル名は，HTMLファイルの作成.docx）

　Pagesで開いたHTMLの記載方法を参考にしながら，Wrixの文章にタグ付けをします。詳細は，「HTMLフィアルの作成.docx」をご覧ください。

　コーディング後，Wrixで編集中のファイルにファイル名「20160505.html」と付けます。先のPDFファイルと同名にします。（拡張子は異なります。）



　手順１（実線の矢印），手順２（点線の矢印）



　ファイル名がつくと，タグの部分に，ファイル名と拡張子が表示されます。

　その後，UDBエクスポートします。



　メニューから「送る」を選択すると，UDBへ送ることができます。

３　UDBで，PDFファイルとHTMLファイルを閲覧

　これで，20160505.pdfと20160505htmlの２つのファイルがUDBにインポートされました。この環境で，UDBではハイブリッドの閲覧が可能になります。

JSONファイル

　UDBのPDFファイルのページ番号等を定義するためのファイルです。

　ファイル名は，PDFと同一にし，拡張子を「json」として，UDBにインポートします。

{

"pageOneIndex": "5",

"tocIndex": "2",

"isVertical": "false",

"reflowFileName": "教科書デジタルデータ活用研修会資料25.html",

}

【解説】

"pageOneIndex": "5",

　教科書に記載のページ数を基準として1ページ目がどこにあたるかを指定します。

　PDFファイルの１ページ目を１として，印刷の１ページ目が何ページ目かを指定します。

"tocIndex": "2",

　目次ページの１ページ目を指定します。

　PDFファイルの１ページ目を0として，指定します。

"isVertical": "false",

　縦書き表示か否かを指定します。Trueにするとページを左から右へ送るように表示されます。

"reflowFileName": "教科書デジタルデータ活用研修会資料25.html",

　htmlファイル名を指定します。PDFファイル名を指定します。拡張子はhtmlとします。

【サンプル例】

